



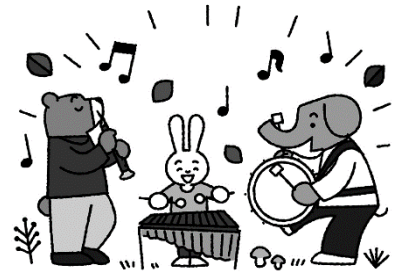
ほけんだより 11月

令和3年11月

愛知県立小牧特別支援学校 保健室

暖かい日が続いていましたが、朝晩は寒くなりました。日が暮れるのも早くなり、いよいよ冬が近づいてきましたね。

冬はインフルエンザやかぜが流行する季節ですが、そこに新型コロナウイルス感染症も加わり、より一層予防が必要です。手洗い、咳エチケット、換気など自分たちにできる予防を引き続き実施していきましょう。以前のような緊迫感は薄れてきているように感じますが、予防意識は薄れないように、もう一度気を引き締めましょう。



11月8日はいい歯の日 給食後の歯みがきを見直そう！

80歳で20本以上の自分の歯を保つために、意識して続けよう歯の健康習慣！

新型コロナウイルス感染予防のための給食後の歯みがきスタイル5

① 手洗い場が混まないようにしよう

- ・密にならないために、時間帯をずらして行う
- ・ソーシャルディスタンスを保ち、並んで待つ



② 歯みがき中のおしゃべりはやめよう

- ・歯みがきによる飛沫が飛び散りやすくなるので、私語を控える



③ 歯みがき中は口を閉じ、前歯の裏は口を手でおおってみがこう

- ・前歯の裏をみがくときは、特に飛沫が飛び散らないように注意

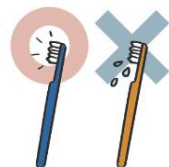
④ うがいは少ない水で1～2回、吐き出しは低いところでゆっくりと

- ・ブクブクうがいはできる限り少ない量の水(10ml)くらいで行う
- ・水を吐き出すときは、はね返らないように低い位置からゆっくり吐き出す



⑤ 歯ブラシはよく洗い、水を切ってかわかしてからしまおう

- ・使用した歯ブラシは流水下でよく洗い、水を切って乾燥させて保管する



インフルエンザやかぜを^{よぼう}予防しよう！

マスクのサイズあってますか？



医療的ケア情報 「連絡協議会について」

先日、令和3年度の第2回連絡協議会が行われました。私も参加させていただいたので、改めて連絡協議会について詳しく説明させていただきます。

連絡協議会は、正式には「特別支援学校における医療的ケア連絡協議会」という名称で、愛知県教育委員会が主催する会です。毎年、3回（5・10・2月）開催され、医療的ケア児童生徒が在籍する特別支援学校の校長、各校の指導医、そして看護師、養護教諭、保健主事等の代表が、主に県立特別支援学校の医療的ケアについて検討しています（市立の特別支援学校や市町村の小・中学校の医療的ケアは除きます）。どのようなことが検討されているかということ、①各学校からの医療的ケアの手技に関する審議や報告事項、②愛知県における医療的ケアの制度上の事項などが中心となります。

今回は特に①についてお伝えします。私の手元にある記録を見る限り、平成16年度からの各学校の審議・報告は令和2年度3月末現在、365件（審議80件・報告153件・平成26年以前は審議、報告の区別なく132件）に及びます。審議事項というのは、基本3行為（吸引・経管栄養・導尿）以外の手技で愛知県において前例がないことに関して、医療的ケアとして学校で実施してもよいか検討する事項です。ただし、人工呼吸器など個別性が高く、高度な手技が伴う事例は過去に事例があっても審議されます。ここ数年の審議事項はほとんどが人工呼吸器と排痰補助装置に関する事項です。その他、研修を受けた教員が行ってもよい行為の事項などがあります。一方、報告というのは過去に実施の例がある3行為以外の手技となり検討を要しない事項です。例えば、日常的に酸素を使用する場合などで

す。

特に審議に関する事項は校長を始めとする各校の医療的ケアに携わる職員が、この連絡協議会で医師に対してしっかりと説明ができるように事前準備を行い、資料を作成します。なぜこんなに細かいことまで…とっていたのですが、連絡協議会に出席してみて、なるほど、多数の医師からの専門的なするとい質問に対しては相当知識を深めておかないということを実感しました。それでも継続審議になったり当然承認を受けられなかったりすることもあります。

保健主事になって数年、医療的ケアに携わらせていただいておりますが、特にできないことをお伝えすることや連絡協議会を待つために保護者ケアが長く続くことは保護者の方々の顔を思い浮かべるとき心苦しいものです。しかし、愛知県の医療的ケアの安全というのは、こういう会議で議論され医師からのお墨付きをいただくことで担保されているということを感じさせてもらっています。

（保健主事 山口）